

某小学校雨漏り修繕工事

江田式漏水診断・江田式特許防水工法



1. 工事概要

・漏水診断

エダ式工法「特許 1339367号」CO₂ガス圧入による検知システム

スラブ漏水跡クラック部分へ診断用ガス(CO₂送入装置)を設置し、同所からその水みちに対し雨水の侵透圧とされる0.06～0.15MPaの圧力でCO₂ガスを圧送した後、屋上で漏水の原因と推定さるる部位についてCO₂検知機(高感度ガス検知機)により測定した。

・漏水補修

コンクリートに発生したクラック及び

各種防水層の不具合に起因する漏水補修に用いる注入工法

2. 漏水箇所



3. 漏水診断



ガス注入器



ガス検知器



ガス診断中

4. 漏水診断結果

検知箇所



雨漏れ箇所の前半径50cm付近のシート防水層の傷よりガス検知しました。

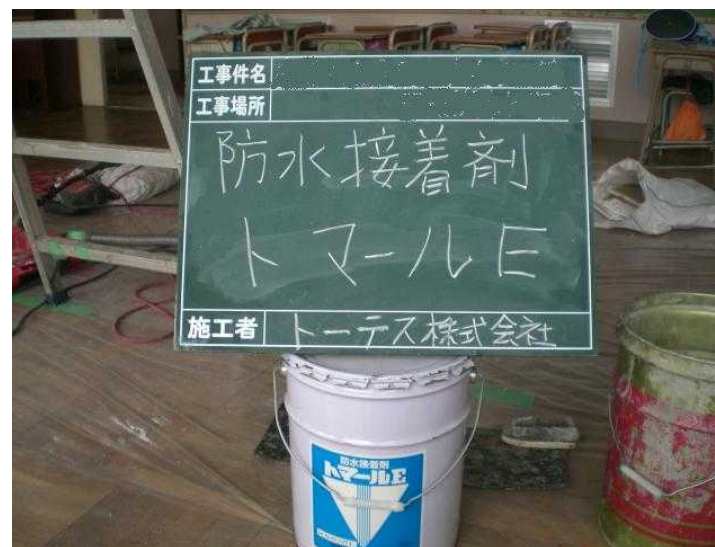
屋上防水には、傷、裂目、が多数有りましたが
今回の工事より以前にシート防水の補修をした形跡がありました。

今回のガスを感知した箇所はコーキングにより補修してありましたが、
シート防水の切れ目が大きくコーキングに新しい切れ目が生じていました。

5. 漏水補修



足踏み注入器



防水接着剤トマールE

雨水が室内側に出てきた周辺に注入孔を穿孔し、高圧樹脂注入工法を用いて注入孔より特殊エマルジョン改質材配合の防水接着剤(トマールE)を注入する事で、既存防水層の不具合箇所に対し新たな防水膜の形成と水浸入経路(水みち)の充填処理を行いました。